

## 議事録

会議名	令和元年度寒川町社会教育委員会議第3回図書館部会		
開催日時	令和2年2月4日(火)午後1時30分～午後3時00分		
開催場所	寒川総合図書館3階会議室		
出席者名及び傍聴者数	出席者:青木委員(部会長) 江藤委員(副部会長) 白井委員 金子委員 仲田委員 事務局:長岡教育総務課長 小林教育総務課主査 山口教育総務課主査 柄澤教育総務課主任主事 指定管理者:嶋田総合図書館長 山内神奈川営業部エリアマネージャー 傍聴者:0人		
議題	報告事項 (1)図書館事業報告(10~12月)・事業予定(1~3月)について (2)委員報告 協議事項 (1)令和2年度図書館事業計画(案)について (2)「本が大好きな寒川の子どもたちを育てるために」について		
決定事項			
公開又は非公開の別	公開	非公開の場合その理由(一部非公開の場合を含む)	
議事の経過	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ 青木部会長 長岡教育総務課長</p> <p>3. 議事録承認委員の指名について 白井委員・金子委員</p> <p>4. 報告事項 (1)図書館事業報告(10~12月)・事業予定(1~3月)について(資料1、2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者から資料1、2説明</li> <li>・図書館総合展(令和元年11月12日~14日パシフィコ横浜)において、寒川総合図書館がポスターセッションで最優秀賞、図書館キャラクターグランプリで会場応援賞2位を受賞。</li> </ul> <p>【委員】とても素晴らしいと感じたことを1点申し上げますが、バリアフリー映画会で障害のある方を福祉施設にも声をかけて呼び出したということ。まさに社会教育は万人向けのものですので、われわれが集客ですとか、このような事業がいいのではないかと議論して、来られる人はそれでいいのですが、参加したくてもできない人への手段としてはとてもこれは有効だと思いました。それをまさにやってくれたことが嬉しくて、これからも損得抜きで寒川の文化としてこのようなことを計画していただければと思います。ありがとうございます。</p>		

【部会長】湘南さむかわラジオについて、娘が一度出演したことがあるのですが、これはどれくらいの方が聴いていますかね。ラジオの方に聞かないとわかりませんか。

【事務局】去年の台風 19 号の時に、その情報をダイレクトに放送したので、それを聴いていた人は結構いたと聞いております。総合体育館に避難者が非常に多く詰めかけていて、混雑しているとか、他の地区へ分散をよびかける放送しておりました。結構がどれくらいの数なのかはわかりませんが。

【副部会長】携帯やパソコンから聴けますね。情報があるときに聴いています。

【委員】図書館総合展に出展したキャラクターは前回図書館に来た時にも目にしていたのですが、すごいことだと思います。キャラクターが生み出される時の話をお聞きできると嬉しいのです。中学生にもこんな風に生まれるものなのかを話していただければ。

【指定管理者】キャラクターをつくっている職員が一人おり、タウンニュースが先日、その者に取材に来まして、どうやってつくるのか、どういう発想から生まれるのか、実際にワードで作っている画面を見ながら話をしていました。皆さんにも興味をもっていただけているのかなと思っています。

【指定管理者】日頃から図書館にいる現場のスタッフ達なので、どうしたらもっと喜んでもらえるのかという課題や意見交換から生まれたのかなと思っています。昨年度のサーチちゃん、フィンくんというキャラクターは図書館で検索できるということをアピールしようという発想でした。今回は子ども達に図書館の本はどういうルールで並んでいるかという分類について、NDC（日本十進分類法）の説明では重いので、シンプルで簡単に伝えたいことが発想の根底にあるのだと思います。私は図書館に常駐しておりませんので、現場でそのような気付きがあるスタッフの行動が素晴らしいと思います。また図書館総合展のポスターセッションでは館長以下スタッフが上手にシフトを組んで、来場者に説明できるように常にそこにスタッフがいる体制を作っておりました。その期間中は図書館のスタッフが 1~2 人少ない状況になるため、留守を任せられたスタッフの力量も素晴らしいと思います。チームワークの良さが今回のポスターセッションでも良い結果を生むことができ、縁の下の力持ちであるスタッフの存在は大きいです。

【事務局】このスタッフは町が直営の頃からいる方と聞いておりますが、指定管理者で引き継いでから、TRC が職員力、スタッフの才能を埋もらせることなく、このように能力を発揮する場所をしっかりと提供して図書館運営に活かしているということが、今回とくに成果が表れたと思っています。

## (2) 委員報告

・令和元年 11 月 14 日(木) 令和元年度神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会(小田原市会場) 金子委員、加藤委員出席

【委員】放課後子ども教室の話題があり、小田原市のいくつかの学校では放課後終わってから、勉強を 30 分から 1 時間ほど教えるサポート体制ができてきており、それを今後広げていきたいとのことでした。寒川町ではまだ導入されてはいないのですが、小学校の校長先生にも小田原市の例をお伝えし、寒川町でもこのような良い流れができればいいと感じました。

・令和2年1月17日(金)第61回神奈川県公民館大会(愛川町会場) 山口委員出席

#### 5. 協議事項

##### (1) 令和2年度図書館事業計画(案)について(資料3)

・指定管理者から資料3説明

【委員】英語関連の講座についてもう少し詳しくお聞きできますか。

【指定管理者】まだ詳細は決まっていないのですが、NPOで多言語多読をしている方を講師に、英語などの本を読んで聞いてもらう、また参加者に読んでもらう、英語で話し合ってもらおう等を考えております。対象は大人向けで高校生以上、だいたい20~30人程度になります。

【部会長】高校生以上が対象で、会話が英語ということですか。

【指定管理者】そうなります。ただし、感想など詳しいことは英語で言えないと思いますので、与えられた本をリーディングするといった感じになると思います。親子向けや子ども向けのコースもあるのですが、今回はまず大人向け、高校生以上で1回やってみたいと考えています。YA向け、中高生向けの講座があまりないもので、高校生にぜひ参加してもらえればと思っております。

【部会長】ほかにはいかがでしょうか。

【委員】次の議題で話しますが、我々が議論してきた「本が大好きな寒川の子どもたちを育てるために」について、来年度の図書館事業計画にこの内容はすべて網羅されているような気がします。館長たちが先のことを見越していただいていると思いますので、一言だけここで申しておきます。

##### (2) 「本が大好きな寒川の子どもたちを育てるために」について(資料4)

・事務局より資料4説明

【部会長】全体的には先ほどもご意見ありましたが、いろいろな企画を実施されていて、中高生向けにもう少し何か考えてくださるのであれば十分なのではないかと思いますが、皆さまからご意見をお願いします。

【委員】对学校、对図書館、对家庭というところで、どうしても我々は学校については疎いです。いろいろな意見を頂戴しましたが、その中で即効性のあるものと、今後継続してやれば効果がでるようなものがあれば議論させていただきたいと思います。読み聞かせは即効性も有効性もあるので的を射ていると思うのですが、他にも第二の矢としてあるのであれば、提案なり、議論できればと思います。

【部会長】読み聞かせに関しては全ての小学校でやっていると思いますが、年々忙しいお母さんが増えているのは確かです。ただ、すごいと思うのは、今のお母さんは読み聞かせをしてから仕事に向かう人、仕事をしていても読み聞かせをちゃんとやってくださる人が増えてきているので、そのあたりのサポートができればもっと活動が継続できると思います。あと、卒業して小学生の子はいないけど、人数が足りないので入ってくる人、昔やっていたという人をうまく学校で取り入れて増えてくれれば、忙しいお母

さんよりも少し時間の余裕があるので、現役のお母さんが担当する回数が減るだけでも少し楽になるのかなと思います。また、図書館に行かれない子どもたちでも学校では絶対に読み聞かせを聞くことができるので、民生委員の方もよく言うのですが、図書館の読み聞かせを聞きに行ける家庭の子どもたちは何の問題もない、それをあつことも知つていれば、行くこともできるので、そこが問題なのではなくて、そこに行けなくて学校での読み聞かせだけしか聞けない子をうまく本の方向に導いていくことが大切だという話を聞きます。学校の読み聞かせはその点ではすごく意味があることだと感じています。おもしろかつた、次は自分で図書館に行って借りてみようつと図書館に行く方向に繋げていければいいのですが。

【事務局】保護者のOBの方、子育てを終えた地域の方々が学校に来ていただけるのもすごく良い活動だつと思っています。ちなみにそれは一之宮小学校での活動ですか。他の学校でもOBの方が入られているかご存じですか。

【部会長】一之宮小学校と旭小学校には北部と南部公民館の読み聞かせのボランティアさんたちが入つていると思います。

【事務局】他の学校については、こちらも状況を聞いてみます。一之宮小学校はもともと児童数が少ないことから保護者も同様で、地域の方々が協力しているという話を聞いたことがあります。そういうことに参加できれば、地域の方でも何か協力したいと考えている方がボランティア活動をする一つの方法になりますので、意欲ある方を町としてもサポートすることができればと思います。

【部会長】それを図書館でサポートいただけるといいですね。

【副部会長】読み聞かせのための講座があるといいですね。

【部会長】実は小学校の読み聞かせに関わつてくれた人でも、講座に行くのはちょっと敷居が高いという人が結構います。講座にも来てくれるような人は他のところでも活躍している方なので、そこまではいいのよ、という人をどう引き出せるかというところですね。あと、機会づくりに関してですが、いろいろなイベントがあつて、朝に電話をするシステムになっていますが、人気のある「ぬいぐるみお泊り会」などは朝何時から受付していますか。

【指定管理者】朝9時からになります。

【部会長】定員になったら受付終了ですよね。

【指定管理者】講座にもよりますが、定員があるものはそうなります。

【部会長】すごく人気のあるものは仕事をしているお母さんが朝9時に電話をかけられないというのを聞いたことがあります。

【指定管理者】受付開始は土日を多くしています。なるべく平日ははずすようにしたいつと思つております。

【部会長】平日ではなく土日であれば電話もしやすいですね。

【委員】学校に関することで状況をお話したいのですが、中学校では朝の読書を行っています。10分間の読書ですが、これは始まって10年以上経ちます。先生も読む、子どもたちも読む、勉強のためではなく、感想文を書くためではなく、本当に純粋に本に親しむ時間を朝10分行うことで、気持ちよく1日が始められます。また、普段、本を読まないような子でも先生も含めて皆が本を読んでいる時間なので、自分も読まなければという習慣が定着しているという意味では、良い取組だと思っています。この朝の読書習慣が、昼休みの時間にも拡大されてくるとまた違ってくるのかなとは思いますが、昼休みはそれぞれの過ごし方がありますので。学校の図書室では、町の読書指導員が週1.5日勤務しており、週によって1日または2日来ています。うちの中学校では読書指導員が来ていない日は、図書委員会の先生が対応しておりますが、実状としては週2日しか開館できておりません。来年度に向けてはいろいろ改善していこうと話しておりますが、誰も先生がついていない状況で図書室を開けることは、信頼関係の部分もあるのですが、なかなか本を返さない子どもがいたりするなど正直不安なところもあり、検討中ではありますが、なるべく開館日を増やしていきたいとは考えております。読書指導員も図書委員会の先生もがんばってくれています。居場所としての図書室は校内でも確立されておりますので、そういう意味の存在意義は、週2日でありながらも、非常に大きいと感じています。ただ、そういう中で、来る子が固定化しており、もっと誰でもふらっと入ってきて、おもしろそうな本があるから借りてみようかなということになればいいのですが、図書室が好きな子と3年間で数えるくらいしか行かない子の差が出ている状況を少しでも埋めるためにはどうしたらいいのかと思っています。それなので総合図書館のいろいろな取組を学校でもうまく置き換えられなかなと考えていて、図書室に本がありますが、クラスにも学級文庫が少しあり、学校の中で他にもいろいろな可能性をためせないかと考えています。図書館の事業計画を見ても、ただ本を読むだけではない、楽しい催し物が入っているので、学校でも理科室の前におもしろい展示物を展示したり、図書館のミニコンサートのように吹奏楽部がお昼休みに5分間だけサロニックなミニコンサートを試みたりなど、声掛けしながらやってみています。また、先生たちがミニ学習会をやってみるなど学校内でいろいろな可能性が生まれています。図書室は良いところがたくさんあるのですが、場所が3階なので、校内でたまには場所を変えてアイデアを出して、本や他のことにも繋がっていければいいと思っています。また、これは個人的に思うことなのですが、中学生になるとスマートフォンの影響がとても大きくて、何年か前に寒川町教育委員会で、夜9時になったらスマートフォンを置きましようとするポスターを作りました。P連の会議にもお邪魔して説明したり、当時のポスターもまだ残っていたりするのですが、あまり定着していない感じもあるので、これはひとつの考えですが、寒川町のキャッチフレーズとして夜9時になったらスマートフォンを置いて、読書の時間に切り替えようと家庭での過ごし方に押し出していくのもいいのではと思いました。

【委員】学校では我々が見えないところでがんばっていただけているというのがよくわかりました。

【委員】中学生の興味が本以外のものにまだまだ一杯あるもので。

【部会長】今のお話で、ふらっと学校の図書室へ何か入っていないかと行ってみるよ  
うに、町の図書館へ行くことも同じことですよね。中高校生がそうってくれるといいで  
すね。中高生向けには図書館でもいろいろと考えてくださって、貸出に繋げることもそ  
うなのですが、まずは自習室など図書館に足を運んでくれるところからまず始めるよ  
うですかね。

【指定管理者】湘南地区の図書館の連絡会で話題が出たのですが、他の図書館  
ではYA向けのイベントというのを盛んに行っているようです。寒川ではあまりやってい  
なかったのですが、参考にさせてもらいながら今後考えたいと思います。先ほど部会  
長からもお話ありましたが、お母さんが昼間は家にいてお子さんの面倒を見ていると  
いうイメージでいると、先ほどの申込日などこちらも変えていかなければと思いき、  
幼児に関しては「おひぎにだっこのおはなし会」は昨年度まで月1回水曜日の昼間  
に行っていましたが、日曜日にも行うようになったら、お父さんがお子さんを連れてきて  
一緒に聞く方が継続的に来てくれています。平日とお母さんの組み合わせだけでな  
いものも考えていかなければならないと思っています。

【委員】図書館の一つの指標として、来館者数と図書の貸出数になっていますが、そ  
れ以外の指標もあるかもしれませんよね。当然一番わかりやすい数字であるとは思  
うのですが、もっと別のところで、例えば図書館の事業の内容が1から5のレベルでどこ  
までいけるかとかといった指標に変えてみると違う見方ができるのではないかと思  
います。今までは金太郎飴みたいに来館者数と貸出数しか見ていませんが、本来はそ  
こだけでは測りえないものがあると思います。今、我々は図書館や家庭や学校のいろ  
いろな話をしていますけど、こうなるとそれだけでは切り口が違うのかなと頭の中では  
よぎりました。だからこれにしてほしいというものは無いのですが、それだけでは測れな  
いのかなというのを感じました。

【事務局】今まさにお話があったように、来館者数と貸出冊数は常について回って  
いて、高いに越したことはないのですが、それと同じような図書館の実績としての指標は  
無いものかと思っています。私も実は以前から考えていて、講演会なども聞きに行っ  
たりしているのですが、ずばりこれという指標はなかなか無いようです。前にもTRCの  
方にもお尋ねしたことがあるのですが、何かありますか。

【指定管理者】やはり来館者数や貸出冊数に対抗するような指標が無いというのが  
現状ですが、図書館の役割というのがここ10数年で変わってきていて、図書館で過  
ごしていただくための居場所、空間という新しい役割が出てきているからこそ、施設が  
流行っているというのもあるかと思っています。そういう意味で我々が参考にしているのは  
事業の回数、事業への参加率、また最近では居場所ということから時間で座席を管理  
する取組をしている所もあります。特定の人が開館から閉館まで座席を使っていて、  
座席が空いてなくて座れないという人が出てきていますので。

【委員】座席の入替制ですか。

【指定管理者】そうなります。満席の時は予約をして、時間になったら必ず座れるとい  
うところで、ビジネスパーソンのワーキングスペースのように利用を掘り起こすことも可  
能なので、そういうシステムがあるところは座席の稼働率をひとつの図書館の指標に

なりうるのかなと思います。ただし、来館者数、貸出冊数に並ぶような評価軸にはまだ成長していないというのが現状です。

【委員】おそらく寒川総合図書館は別の指標で見たときに、結構すごいことをやっていると思います。我々が知らされるものは来館者数と貸出数なので、何も変わっていないではないかと思われる可能性は十分ありますが。本来あるべき姿をやはり知らしめるべきだと、これだけががんばっています、来るとおもしろいという方向に行ければという気がします。

【部会長】そういう意味では図書館まつりでたくさんの方が集まっている時に職員の方のいきいきとした顔がすごく印象的でした。来ているお客さんならわかるのですが、職員の方が皆、素敵な顔をしているのがすばらしいと思いました。

【副部会長】それは私も感じました。

【部会長】来館者数は増えていくと思われるので、すばらしさをわかってくれる人もどんどん増えると思います。

【委員】ただ、来館者数に関しては若干懸念がありますね。

【指定管理者】ここ何ヶ月かは外壁工事で、騒音もありますが、敷地内の駐車場が使えなかったので影響はありました。

【委員】数字で割り切るとするのは万人向けなのですが、言葉のものをいかに数字に表すことができれば指標になれるので、何か考えていただければと思います。他にご意見がないようであれば、私がまとめを作ってみたのですが、皆さんのご意見が出尽くしてからとお話しします。

【部会長】皆さんの意見について、受け入れ側のことを何も考えずに、例えば総合図書館の本のリクエストを学校で受け取ることができないかとか、スマホが利用券の代わりにできないかとか、このあたりはできるできないは別として、提案をさせてもらうことはできますか。中高生の利用率に繋がるような意見としてお願いというのでもいいのですかね。

【委員】我々の意見というのは反映されて当たり前になります。ただし、その選択は事務局がすることになります。

【委員】ピンポイントなことですが、さきほどからスマートフォンの話が出ていますので、最近の中高生のほとんどがスマートフォンやタブレットを持っていて、図書館のWi-Fiのサービスは来館を促進するという意味でいいと思うのですが、私も会社にフリーのWi-Fiを入れていて、中学生くらいの子がゲームをしにやって来ます。家でできないのか、時間制限があるのかわかりませんが、長い子は午前中から夕方まで、ずっと椅子に座ってゲームをしています。図書館でもそのような利用の仕方をするような子はいませんか。

【指定管理者】ゲームをやっているような子もいますが、それは巡回の時にゲーム利用は遠慮いただいていることを注意します。

【部会長】やっぱり図書館でもやってますか。

【指定管理者】大人の方でも多いです。ポケモンのゲームで図書館がスポットになっているらしく、隅で何か操作している人もいるので、注意をしてやめてもらっています。

【委員】うちの会社でもひどい時にはトイレの個室に入ってやっていた子もいました。2時間くらいずっと出てこないの、さすがにドアをたたいて注意しましたが、そういう使い方をしてしまうのは困っています。図書館では声をかけているのですね。

【指定管理者】Wi-Fiを使う方には利用案内を出していて、ゲームをする方は利用できないことを明記しています。それでも続けている場合はこちらで注意ができますのでやめさせています。

【部会長】ただ来てくれれば良いという訳ではないことも考えていかなければいけないということですね。

【指定管理者】Wi-Fiを勉強に使っていただくことは全然かまいません。最近は授業内容を動画で確認するものもあるようで、それを見ている学生が増えています。

【部会長】授業で動画を見ることは増えています。図書館の自習室ならば、ギガを気にせず動画が見られるということですね。

【委員】それは有効な利用ですね。違う方向に行ってしまうのは困りますが。

【指定管理者】ゲームは禁止ですが、YouTubeなどを見ている人はそれが勉強なのだと言われると禁止ができません。後ろに目があるので、あまりそういうの人はいませんが、怪しいのを見ている場合はさすがに注意します。

【委員】学校で計画的に予定が立てられればいいのですが、クラスや学年単位で図書館にまとまった人数で訪問することは、どのような手順で行えばいいですか。

【指定管理者】図書館は誰が使ってもいい場所なので、いつ来ていただいても結構なのですが、1か所の棚や分野で人がどっと集まってしまうような場合だとかなり混雑するので、その分野でクラス全員が借りられるくらいの冊数があるのか確認しておくために、できれば事前にご相談いただいた方がありがたいです。

【委員】そういう分野に限られるものでなく、それぞれが好きな本を読もうというのであれば、当日でも大丈夫ですか。

【指定管理者】それはもちろん大丈夫です。

【部会長】小学校でも図書館へ行きますが、寒川の学校は全校来ますか。

【指定管理者】小学2年生は必ず授業で、だいたいクラス単位でやってきます。利用券の使い方など案内しますが、学校によっては、自分でカードを持っている子は本を借りていく場合もあります。自動貸出機は人気がありますね。初めて使う子は喜んでいきます。

【事務局】先ほど読み聞かせ活動をする方で技術的なことを学ぶ講習会に参加するのは敷居が高いと感じられる方もいるとのことでしたが、他にこういうことを知ることができれば活動の助けになると思うようなことはありますか。

【部会長】一番皆さんが悩むのは何を读もうかというところです。明日2年生のクラスで読み聞かせをするという時に、参考になる本を全部見て探すのではなく、この辺はどうですかという本があれば、きっと楽になると思います。高学年だったらこんな本とか。ただし、常時それを準備するのは難しいと思うので、ちょっと相談したいときに応じてくれる図書館スタッフがいるといいと思います。相談できるということを皆さん知らないなので、相談してもいいことを教えてあげられるといいなと思います。

【指定管理者】それはぜひ相談してください。児童書担当が相談にのれますので。

【事務局】では、読み聞かせをしている方はぜひご相談くださいということをお願いできると支援になりますね。例えば館内にポスターを貼って「読み聞かせをしている方はお気軽にご相談ください」ということをPRしてもいいかもしれません。

【部会長】小学校1、2年生は何を読んでも喜んでくれるのですが、難しいのは5、6年生で、せっかくお母さんたちが来ているから聴いてやるかという優しい心は芽生えてくるようですけど。一番ストレートに反応してくるのが3、4年生で、つまらないものはつまらないとはっきり言われるので、それぞれの難しさがあります。それなので読む本の提案してくれるとすごくありがたいと思います。

【事務局】読み聞かせの方は他の学校と交流することはありますか。

【部会長】私が聞いているのは、旭小学校では毎年全員のボランティアの方が集まって講習会をしていたので、その時に他の学校の方も呼んでくれて、年に1回顔を合わせる機会がありました。今はそのようにやっているかわかりませんが、朝の読み聞かせだけで精一杯ですという忙しいお母さんが多いので、集まりがあっても私は行けないわ、という人も増えています。

【事務局】一之宮小学校で読み聞かせの方が集まる機会がありますか。

【部会長】年1回は顔を合わせる機会があります。

【事務局】そうすると、頼まれた日は、当番の方が1人で学校へ行って、読み聞かせをして帰るといった感じでしょうか。

【部会長】そうですね、他のクラスに行くお母さんと顔を合わせることもありますが、1人で行って、1人でやって、1人で帰ります。

【事務局】その日がうまくできたとか、うまくいかなかったとか誰かに話すとか受け止めてくれる人はいない状況ですか。

【部会長】おっしゃる通りで、この本はこの学年の子どもたちにすぐくけたよというのをボランティアの交流ノートなどに書き込んで、誰かの参考になるといいのですが。一応、いつ何の本を読んだかというノートはつけられていて、ちゃんと聞いてくれましたとか、あまりうまくいきませんでしたとか書いてありますが、それを確認してから次の本を選ぶ余裕がないので、もったいないのですけれど。他の小学校も何を読んだかは記録をしていると思います。

【事務局】ありがとうございます。いろいろ参考になるご意見ありがとうございます。

【指定管理者】総合図書館は読み聞かせのボランティアがひとつのグループとなって募集しており、連絡ノートがあって、何を読んだのか記録していて、事前に集まって、読まれる方が打合せや反省会もしております。紙芝居講座など一般の方が参加できるようにしていますので、ご参加いただければ交流できるかと思います。ぜひよろしく願いいたします。

【副部会長】本が好きな寒川の子どもたちを育てるためにというすごく大きなテーマでやってきましたが、今度、新たに子育て支援センターでお父さんお母さんに向けて講座をされるとのことで、図書館から出向いて、本の良さを伝えていく動きは、すごく大切なことだと思います。やっぱり来てくれる人をカウントするだけではなく、出向いて行って、そこで興味のある人が足を運んでくれることで図書館に繋がっていくことと、中高校生になると図書館から離れてしまいがちなので幼少期からどう本の魅力子どもたちに伝えていくか、親も子も一緒に同じものを見て喜べる時間が家庭教育の中でもすごく重要だと思います。おひざにだっこのおはなし会もやっていますが、やはり親子が触れ合って、同じものを見て、心を通わせる時間というのは本がすごく大きな媒介になります。幼少期の親子が体感し合うことで家庭教育がもっと充実したものになるので、図書館が待つのではなく、いろいろ出向いてPRをしてきたことが、長い年月を経て、その経験をした子どもたちが図書館に通えるようになるのかなと、長いスパンなのですが私は幼児教育、幼少期の家庭教育の重要性はそこにあると思います。紙芝居ひとつもそうですが、道徳的な内容からおもしろおかしいもの、昔話もたくさんあって、誰がどう選んで提供するか、教育的観点も含めて育てられるものが大きいので、それが浸透していけば本が大好きな寒川の子どもたちが増えるのかなと思います。図書館内の講座で何人来た、何をしたというのと違って、今回子育て支援センターに出向くことは図書館の画期的な動きであると思いました。

【委員】私はずっとサラリーマンをしていたので、ビジネスマンとしては最後に結果を出さないと気持ちが悪いもので、今回は私個人の考えを資料で出しましたが、それと2020年度の事業計画を合わせるとどんぴしゃになります。我々が言いたいことはこの中に網羅されており、これでもう終わってしまったと。ただし、足りないことは、資料4に書いてあることをかみ砕いて入れてほしいことが結論だと思います。私が今回作った資料をお配りしますが、家庭、学校、地域で分けると、2020年度の事業にそれが全て入っています。その中でア、イ、ウ、エ、オという事業項目に分かれて、それぞれの事業が29ありますが、この中にこれから寒川の子どもたちが本当に本を好きになる

ためには何をしなくてはいけないかという重要度が入っていると思います。当然それに対する項目はありますので、いかにそれを皆さんにうまく利用してもらえるか、というところを資料4から入れていただいて、それに対して我々社会教育委員の図書館部会が提案させていただくことがいいと思います。独断でございますが。その中で現在の課題と、今後求められることを入れています。現在の課題は3つあり、学校図書館への支援強化、中学生高校生へのサービス充実、それと学生・社会人へのサービス充実。今後求められるものとしましても3つありまして、高齢者向けのイベント開催、障がい者サービスの充実、今ペンディングになっている全国の受託実績を活かした寒川町PRといったところがこれから今後求められるものとして、私は捉えました。この辺を我々としてはうまく提案していければいいのかなと個人的には思います。なぜこの話をしたかという、要は結果の出ない会議はやる必要がありません。今までは知りませんが、ビジネスマンとして最初に何かやろうと提案されたことは、必ず結果があって、それに対して結果をどう判断するかPDCAを回さないで次に回しません。今回、結果も出ないで終わらせるのは不本意なので、この提案だけはさせていただきました。

【部会長】この学生というのは大学生ということでしょうか。

【委員】そうですね、大学生、高校生が入ってきます。

【部会長】これは、まさに求めていることを来年度の事業計画で図書館はしてくださっているということでしょうか。

【委員】私はそういう風に判断しました。

【事務局】いろいろありがとうございました。そもそも社会教育委員会議が前回から部会制度を取り入れたということで、まさに手前味噌かもしれませんが文章で提言をいただくには、それを作っている時期とそれを読み解く時期というのがずれてきますが、部会で直接運営する方、あるいはそれを監督する教育委員会として皆様とともに膝を突き合わせて2年間いろいろなことを一つのテーマで考え、実行者の中、私たちの中で、皆さまの意見を文書でもらうのではなく、ディスカッションしながら具現化に近づいてきたことはまさに部会の良かったところだと思っています。発想する担当、それを何か形にする担当、それを実行する担当と分けるのではなく、それが皆いまここにいて、いろいろな発想だとか実際にやっている現状を聞きながら、発想している人たちの意見も聞きながら、何かこう融合して作ってきたというのがこの2年なのだという感じがしています。来年の事業について館長が説明した中には、皆様の意見がいつのまにかエッセンスとして入っていたことが部会で揉んできた一つの成果である思いました。これまでの提言はそれを誰も実行できないじゃないか、誰が検証しているのかということをも今まで言われてきたところを少し乗り越えられたと今日は感じました。また来期に向けてどうやっていくか一つの大きな布石になったのではないかと感じておりますが、2年間ありがとうございました。

【部会長】いろいろまとめていただきましたが、各委員からいただいた意見を図書館の来年度の事業に盛り込んでいただいているので、さらにそれを細かいところまで入れていただければ私たちがやってきたことが反映されているということによろしいでしょうか。

	<p>【事務局】今日いただいたご意見をまとめて、来週の全体会にお出しできるように事務局でまとめます。</p> <p>6. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回の会議開催予定について</li> <li style="padding-left: 2em;">第2回社会教育委員会議</li> <li style="padding-left: 2em;">2月12日(水) 13:30～ 町民センター1階視聴覚室</li> </ul> <p style="padding-left: 2em;">県社教連・県公連関係</p> <p style="padding-left: 2em;">2月19日(水) 県社会教育委員連絡協議会地区研究会(厚木市文化会館)</p> <p style="padding-left: 2em;">青木委員・仲田委員</p> <p>7. 閉会</p> <p style="padding-left: 2em;">江藤副部長</p>
<p>配付資料</p>	<p>資料1 寒川総合図書館2019年度主要事業実績(10月-12月)</p> <p>資料2 寒川総合図書館2019年度下期事業予定(1-3月)</p> <p>資料3 寒川総合図書館2020年度事業計画(案)</p> <p>資料4 平成30年度・令和元年度図書館部会協議事項の経過について</p> <p>資料5 寒川総合図書館としょかんだより「HAPPYだ～な通信」第10号</p> <p>当日配付資料 研修会等参加報告書</p>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>・臼井浩美      ・金子洋一</p> <p style="text-align: right;">(令和2年3月30日確定)</p>